

20260527_i-スマ定例会（5月）_議事録（要旨版）

【開催概要】

開催日時：2026年5月27日 14:00～15:00

開催方法：オンライン（Teams）

参加団体数：38 団体

【1. 会長挨拶】

会長から、6月に開催予定のDX事業提案会（市長プレゼン）を一つの区切りとしつつ、その後もさらなる発展を見据えて活動を進めていきたい旨の挨拶がありました。

【2. i-スマ運営関連】

5月の新規参画団体はありませんでしたが、前回定例会で挨拶を見送っていたトラストバンクから挨拶がありました。

・トラストバンクから、「ふるさとチョイス」や「LoGo フォーム」、地域通貨プラットフォーム「chiica」等の取組紹介がありました。地域通貨を活用した地域DXや業務改善を推進しており、今後はi-スマ会員との連携を進めていきたい旨が共有されました。

【3. 地域DXに係る活動概況】

一宮市の地域DXの全体像および直近の取組状況が説明されました。

【4. 既存事業の情報共有 | 2026年度実装事業】

2026年度に地域DX関連で実施する事業について、現時点では、「イチ推し20」等で公開されている事業の情報をご参考いただきたい旨の説明がありました。

【5. 新規事業の検討 | 2026年度以降の実証/実装事業のアイデア検討】

会員からのソリューション紹介として、以下の内容が共有されました。

・NECから、避難行動要支援者を対象とした「NEC 避難行動支援サービス」の紹介がありました。個別避難計画の作成・管理や災害時の安否確認・情報共有を支援する仕組みであり、防災分野における地域課題の解決に向けた取組が説明されました。

・富士通から、AIを活用した自治体業務変革に関する取組紹介がありました。施策効果のシミュレーションを行うサービスや、生成AIを活用した仕様書作成・レビュー支援サービスについて説明があり、自治体業務の効率化や高度化への活用可能性が共有されました。

また、6月開催予定のDX事業提案会（市長プレゼン）の位置づけや今後のスケジュールについて説明がありました。

【6. その他 | 会員/WG 等からの情報共有】

以下の内容が共有されました。

- ・WGの位置づけや活動方針について説明がありました。
- ・デジタルデバインド対策WGから活動紹介がありました。高齢者向けスマホ相談やスマホ教室等の取組を通じて、地域におけるデジタル活用支援を進めていることが共有されました。また、「イチ・デジ」等のサービス普及や市民への情報伝達手法について会員間で検討していきたい旨が示されました。
- ・次回のデジタルデバインド対策WGを6月24日にオンライン形式で開催予定であることが案内され、会員へ参加が呼びかけられました。

【7. 次回以降のi-スマ活動について】

次期会長選任に向けた手続き状況について説明がありました。現在、書面総会による承認手続きを進めており、結果は6月上旬頃に会員へ通知予定であることが案内されました。

また、6月30日に対面形式で定例会兼DX事業提案会（市長プレゼン）を開催予定であることが案内されました。

【8. 総括】

会長から、DX事業提案会（市長プレゼン）を一つの節目としながら、今後も一宮市の地域DX推進に向けて活動を発展させていきたい旨が述べられました。